注目すべき点

○離島医療支援のための無人ドローン搬送実験の実施:香川大学



瀬戸内圏研究センター等が参画しているコンソーシアム「三豊市粟島スマートアイランド推進協議会」による「粟島スマートアイランド推進プロジェクト」が国土交通省による「令和2年度スマートアイランド推進実証調査」に採択されている。

瀬戸内圏研究センターは、既に規制が緩和されている「オンライン診療」「オンライン服薬指導」に併せて、離島・へき地への遠隔診療及び医薬品の配送モデルを構築するとともに、推進協議会の一員として、ドローンを用いたモバイル心電計と治療のための処方薬を配送する実証実験を実施している。

○地域を志向した教育研究事業・社会貢献の推進:熊本大学

令和2年7月の豪雨災害で被災した人吉球磨地域の地場産業の再生に向けた球磨焼酎酒造組合との共同事業として、計17回の勉強会、現地活動を実施し、延べ82名の学生が参加している。また、熊本県、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)、球磨焼酎酒造組合と連携して地場産業のブランド強化の課題に取り組み、その活動報告として地域向けの成果報告会を実施し、17名が参加している。

また、特許庁地域ブランド総選挙でプレゼンテーションを行い、「優秀発掘賞」を受賞し、新聞やテレビでの取材を受けるなど、被災地域の地場産業の再生に貢献している。



○子供の体力を改善するプロジェクトの推進: 鹿屋体育大学



ExseedプロジェクトによるBASIC(中強度)ダンス動画の一場面

子供の体力低下という社会的課題の解決を目指して 実施してきた研究の成果を社会に還元するため、株式 会社鹿児島放送との共同プロジェクトとして、

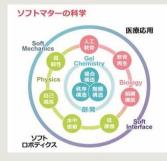
「Exseedプロジェクト」を始動している。本プロジェクトでは、走る・跳ぶなどの運動の基礎となる動作を盛り込んだ5分間の運動プログラムを開発し、動画アプリ等による普及活動を実施している。

※ Exseed (エクシード)は、Exercise (エクササイズ:運動)とSeed (シード:種)を組み合わせた言葉。種から苗を育てるように、『運動の種』を蒔き、子どもの頃から自然と運動に親しむうちに、将来的に一生運動ける日本人が増えるとともに、未来のアスリートが芽吹いてほしいという想いが込められている。

グローバル化

○国際連携研究教育局(GI-CoRE)における国際連携研究教育の推進:北海道大学

海外の有力な研究室を誘致し、共同研究・教育を行う国際連携研究教育局(GI-CoRE)の計4つのグローバルステーションにおいて、国際連携研究教育を推進している。ソフトマターグローバルステーションにおいては、学外委員による外部評価により、世界トップレベルの研究者と協働した成果が多くの著名ジャーナルに掲載されるなど研究の生産性が高い点、生命科学院ソフトマター専攻を設置し、サマースクール等において卓越した研究者が学生を直接指導することで次世代の科学者を育成している点等、国際的な研究協力と教育の両方で評価され最上位のS評価を得ている。





15